

令和2年度下半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市中央青少年会館	所管課	教育委員会 社会・青少年教育課
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	公募	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料	利用料金	料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	35,645,996円		
施設の設置目的	青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。		
施設概要	貸 室;ホール、研修室(3)、練習室(2)、会議室(2)、和室(2) フリースペース;若者チャレンジ室、ボランティアスタッフルーム、スタディールーム、アートスペース、ミニキッチン、ラウンジ		

●利用状況

	R2 下半期	R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	
利用者数(単位:人)	11,306	7,906	13,692	15,225	15,397	
各室稼働状況(%)	会議室1	37.2	32.9	51.2	50.2	49.1
	会議室2	40.2	39.7	49.2	47.5	48.9
	和室1	29.4	24.4	33.1	36.1	36.2
	和室2	32.8	31.9	41.8	42.5	37.5
	研修室1	38.9	31.3	45.4	41.1	36.3
	研修室2	38.7	28.5	37.3	33.9	35.4
	研修室3	24.8	23.3	40.3	31.1	38.9
	練習室1	48.5	56.3	64.8	65.9	67.0
	練習室2	49.5	47.9	59.3	68.9	65.9
ホール	52.5	45.7	61.1	57.1	64.0	

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守	①岐阜市青少年会館条例施行規則を遵守している。
	②適切な人員配置	②勤務ローテーション表を使用するなどして、計画的に人員を配置している。また、教員OBや社会福祉主事資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 一般職員 2人 (社会福祉主事 1人) 常勤嘱託職員 1人 普通嘱託職員 3人 (全6人のうち教員資格保有者 2人)
	③広報の方策	③広報誌、館内掲示、チラシ、ホームページ、SNS等で広く提供している。
	④苦情への対応	④会館利用者に対してアンケートを実施し、要望や苦情を的確に把握し、速やかに対応している。また、毎月館内会議を開き、接客態度の向上に努めている。

区分	確認事項	履行状況
指定事業・ 自主事業	指定事業 ①青少年団体や青少年育成団体の活動拠点	指定事業 ①活動拠点支援事業 ・下半期利用状況:利用者数 11,306人 利用団体数 1,010団体 【コロナ対策による利用時間の制限等】 1月10日より 新規予約停止、夜間利用停止 3月 1日より 新規予約停止、夜間利用21時まで 3月 9日より 制限解除
	②自立支援が必要とされる若者への支援	②若者対象支援事業 ・若者チャレンジアップ講座:下半期 7講座開催 参加者 延べ69人 ・フリースペース活動:下半期 5講座開催 参加者 延べ102人 (コロナ対策により開催回数縮小) ・居場所機能:エールぎふと連携し、若者相談を実施。 (下半期 若者相談件数 1件) エールぎふV係との情報共有・連絡協議の実施 「子ども・若者支援ネット岐阜」への参加、情報共有 若者や青少年を巻き込んだイベントの企画・実施 ミニイベントの開催による安心できる施設づくり
	③自立支援が必要な若者の家族やその支援者への支援	③支援者対象事業 ・若者支援クローズアップ講座 先駆的支援者から学ぼう: 下半期 1講座開催 参加者 37人 ・主に青少年とその保護者を対象とした教育相談 下半期相談件数:48件
	④青少年への学びの場の提供	④青少年の学びを支援 ・地域貢献スキルアップ講座:2講座開催 参加者 延べ30人 ・学習拠点支援事業 ・小中高生にスタディールームや空き部屋を学習ルームとして提供 下半期利用者数:452人 ・サタデー・サンデースクール 困り感のある子どもにとって心地よい居場所となるようなサードプレイスとしての活用を図っている。 下半期利用者数:78人 ・オンライン学習支援「おもしろ教室」の配信 下半期 105教材を配信 ※おもしろ教室教材を職員の手作りで作成し、自由に利用できるようHPやYouTubeで配信した。
	⑤市の中核的青少年会館として、他の4会館との連携	⑤4館との連携 ・館長会での情報共有や事業実施、施設管理方法等の審議 ・5館での事業実施(サタデー・サンデースクール、青年講座、子ども会サポートプラン、岐阜版アダプトプログラム など) ・エールぎふとの連携を強化し、5館でのサテライト支援体制を構築し、サードプレイス機能の充実を目指している。(中青・青少年ルーム等での実績)
	自主事業 ①子ども会サポートプラン	自主事業 ①子ども会サポートプラン 下半期サポート件数 なし
	②中青フェスティバル	②中青フェスティバル 11月1日実施 参加者数 37人

<p>施設管理</p>	<p>①日常・定期清掃業務</p> <p>②警備業務</p> <p>③ねずみ、害虫等の防除等</p>	<p>①日常清掃:職員による施設内外の清掃を実施 施設利用後の職員による消毒作業の実施 定期清掃:アダプトプログラムによる「明德ポケットパーク」の清掃</p> <p>②職員による日常点検:開館日に職員が出勤時と退勤時に安全点検を実施。</p> <p>③害虫等を発見した場合はその都度薬品を使用しない捕殺を実施。 セアカゴケグモ対応(今年度2回目)</p> <p>・施設内において、三密の回避、ソーシャルディスタンス確保のサイン、スタディールームの仕切りの設置などを実施 新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底 ・職員による定期安全点検の実施 ・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等) ・防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備 ・吐しゃ物処理セットの常備(ノロウイルス対策)</p> <p>その他、施設・設備等の管理については、仕様書・事業計画書のとおり業務を遂行している。</p>								
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備 	<p>○迅速な修繕の実施(利用者からの指摘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者とのコミュニケーションを重視し、窓口での声掛けや利用後の要望などの聞き取りを行っている。 ・利用者アンケートに施設への要望等の欄を設け、利用者からの声を収集することで、ニーズや不備に対し迅速に対応している。 ・職員による日常点検において施設の不備や安全確保に努めており、発見した場合は可能な限り職員で修繕対応を行っている。 <p>修繕実績(業者による対応)</p> <table border="0"> <tr> <td>カーテンレール取替修繕</td> <td>4,000円</td> </tr> <tr> <td>電話修繕</td> <td>33,000円</td> </tr> <tr> <td>ラウンジエアコン修繕</td> <td>89,100円</td> </tr> <tr> <td>東通門口庇修繕</td> <td>195,113円</td> </tr> </table> <p>全4件実施</p> <p>○職員による主な修繕・整備事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2階廊下照明器具増設 ・利用後の消毒清掃 ・有毒昆虫発生対応 ・ドアチャイムの取付 ほか 	カーテンレール取替修繕	4,000円	電話修繕	33,000円	ラウンジエアコン修繕	89,100円	東通門口庇修繕	195,113円
カーテンレール取替修繕	4,000円									
電話修繕	33,000円									
ラウンジエアコン修繕	89,100円									
東通門口庇修繕	195,113円									
<p>危機管理・法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護</p> <p>②非常時の対応策</p> <p>③関係法令の遵守</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護体制について、窓口での表示やホームページでの公開を実施 ・「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」「特定個人情報取扱規程」を制定 ・個人情報保護担当者を配置 ・「個人情報保護宣言」表示を継続 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内において、三密の回避、ソーシャルディスタンス確保のサイン、スタディールームの仕切りの設置などを実施 新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底 ・職員による定期安全点検の実施 ・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等) ・防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備 ・吐しゃ物処理セットの常備(ノロウイルス対策) ・「青少年会館危機管理マニュアル」の設置 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不当要求防止責任者選任事業所」プレート設置継続 ・岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。 								

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>①施設利用者アンケート ・全ての施設利用団体(代表者)に利用する度に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>②主催事業参加者アンケート ・講座参加者に対しアンケートを実施。</p> <p>③アンケート週間「利用満足度アップアンケート」(令和3年1月19日～2月8日) ・期間中代表者だけでなくすべての来館者に対して、アンケートを実施。</p> <p>④「常設アンケート」の実施と「あと一声運動」による聞き取り調査。(対象:施設利用者)</p>
	<p>①施設利用者アンケート 「利用回数について」934件 初めて:19件 0.2% 複数回:915件 99.8%</p> <p>「全体の満足度について」 大変満足:56.7% 満足:41.4% 普通:1.8% 不満:0.0% 大変不満:0.1% (98.1%)</p> <p>「施設設備について」 大変満足:56.6% 満足:41.4% 普通:1.9% 不満:0.1% 大変不満:0.0% (98.0%)</p> <p>「職員の対応について」 大変満足:58.5% 満足:39.5% 普通:1.9% 不満:0.0% 大変不満:0.1% (98.0%)</p> <p>【主な意見】 「コロナの手続きが面倒」 「三密の対策ができていて、安心して利用できました。」 「予約システムの操作方法を丁寧に教えていただきうれしかった」 「いつも気持ちの良い対応をしていただき感謝しています。」 「北入り口の閉鎖により正面へまわらなければならないので面倒」 「駐車場がいっぱいで困った。」 その他感謝の声多数</p> <p>②主催事業参加者アンケート (①とても良い・②良い・③もう少し・④良くない)</p> <p>■地域貢献スキルアップ講座: ◆(11月)生き物には生命がある いぬとねことひとのきもち 「講座内容について」 ①:100% ②:0% ③:0% ④:0% (100%)</p> <p>◆(2月)岐阜SWOOPSホームゲーム設営ボランティア B3リーグの試合運営に参加しよう 「講座内容について」 ①:93.0% ②:7.0% ③:0% ④:0% (100%)</p> <p>【主な感想】11月「いぬとねことひとのきもち」より ・犬や猫がとてもかわいくわかりやすい講座だった。自分のペットが迷子になることで、保健所にいる犬や猫がその分殺処分されてしまう。飼っている犬や猫は最後まで飼っていきたい。(中2男) ・殺処分される猫の数や、保護される犬の多さに驚きました。実際に四匹の犬猫と触れ合ってみないいいこで、障がいがあっても一生懸命生きている姿、そして、保護している人の犬や猫に対する思いや優しさに感動しました。少しでも多くの動物の命が救われるように私にできることがあったらしたいと思いました。(中2女)</p> <p>【主な感想】2月「B3リーグの試合運営に参加しよう」より ・パンフレットの設置や袋詰めなどを仲間と一緒にやることの大切さを学んだ。今後に生かしていきたい。おかげでとても楽しくできました。(中2女子) ・おもてなしの心を学びました。てきとうにやるのではなくて、使う人やもらう人のことを考えてできました。一つ一つ丁寧に教えてくださり、ありがとうございました。(中1女子) ・ボランティアの方が、バスケをすごく好きで、だからこそお客さんに喜んでもらえるように準備していることがすごくわかりました。初めてバスケの試合会場の雰囲気とかを知ることができました。(中2女子)</p>

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>■若者チャレンジアップ講座:(感想を記載)</p> <p>【主な感想】 「楽しい時間は、あっという間に過ぎていきます、充実した時間でした。自分にとって欠かせない居場所です。」(10月サテライトわおん参加者) 「各団体やグループの活動がじっくり見られて、また、聞くことができて本当にいい時間でした。」(11月SHINY参加者) 「場所も環境も全く違いましたが、気持ちは私たちと同じなのだと思います、心がとても温かくなりました。素敵な出会いに感謝です。」(11月SHINY参加者) 「たくさんの場所でコミュニティづくりに携わっている人達の話をお聞きすることができて、とても良い経験になりました。参加してお互いに話したりできる素敵な場でした。(11月サテライトわおん参加者) 「来年はもっと自分からまず話して行ってSHINYの方とっと仲良くなりたいと思っています。今年は、ありがとうございました。」(12月SHINY参加者)</p> <p>■ミニ中青フェスティバル:(感想を記載)</p> <p>【主な感想】 「いつも中青を利用していますが、他団体がどのような活動を行っているのか、想いなども聞くことができ、とてもよかったです。お互いの活動を知ることができ、方向は違ってもみんな同じような目標や想いを持って取り組んでいることがわかり、より身近に感じられました。」(シニアリーダークラブ) 「今まで参加した中青フェスティバルの中で一番楽しくて印象的でした。講演を聞いて、一年しか生きられなかった私の妹について親からもっと話を聞いてみたいと思いました。来年も期待しています！」(シニアリーダークラブ) 「他団体と交流することで、他団体が何をしているのかを知ることができ、楽しい時間を過ごすことができました。」(シニアリーダークラブ)</p> <p>③アンケート週間「利用満足度アップアンケート」 実施期間: 1月19日～ 2月8日 回収枚数 143枚</p> <p>「利用回数について」 初めて:2件 1.4% 複数回:141件 98.6%</p> <p>「全体の満足度について」 満足:79.0% やや満足:20.3% やや不満:0.7% 不満:0.0% (99.3%)</p> <p>「職員の対応について」 満足:82.5% やや満足:17.5% やや不満:0.0% 不満:0.0% (100%)</p> <p>「施設の使いやすさについて」 満足:75.5% やや満足:23.8% やや不満:0.7% 不満:0.0% (99.3%)</p> <p>「設備や備品について」 満足:78.3% やや満足:21.0% やや不満:0.7% 不満:0.0% (99.3%)</p> <p>【主な意見】 「いつも親切な対応に感謝しています。ありがとう。」(同様の声多数) 「玄関の飾り(ミニイベント)に子どもが毎回喜んでます。」 「コロナ対策が良くできています。」 「日常の配慮に感謝するばかりです。きれいに整備されています。」</p> <p>【不満の主な意見】 「駐車場が不足している。」 「2階も土足で使いたい。」</p> <p>④常設アンケート 実施期間:通年 回収枚数:1枚 【ご意見等】 「塾に行っていないので、ここのスタディールームはとても助かっています。毎日のように利用しています。」</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で速やかに対応するほか、業者対応を要するものについては見積もりを依頼し、後日対応している。</p> <p>【主な意見と対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「廊下が暗くて掲示物が見にくい」 ⇒電気工事士資格を保有する職員が照明器具を増設しました。 ・「飛沫防止のパーテーションが欲しい」 ⇒職員で作成した移動が容易なパーテーションをお貸ししました。 ・「活動場所を示すための立て看板が欲しい」 ⇒岐阜市少年自然の家の協力で3本の立て看板を作成していただき、ご利用いただきました。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【中央青少年会館】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
I 公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	(1)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。	S	S	S
		(2)情報公開、広報の方策	利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報誌ふ等に掲載し、情報提供を図っているか。	S	S	S
		(3)個人情報保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	A	A	A
		(4)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
II 効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。	SS	S	S
		(2)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	S	S	S
		(3)利用者に対するサービス向上の方策	講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	S	S	S
		(4)利用促進、利用者増の方策	施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。	S	S	S
		(5)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている。	A	A	A
		(6)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。	S	S	S
		(7)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				
III 効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	(1)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの縮減に努めているか。	S	S	S
		(2)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	A	A	A
		(3)管理経費縮減の具体的方策	安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	S	S	S
		(4)その他指定管理者の提案によるもの		A	A	A
		区分評価				

IV 安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	S	A	A
		(2)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。	A	A	A
		(3)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。	S	S	S
		(4)スタッフの管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができていますか。	SS	S	S
		(5)スタッフの人材育成の方策	各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。	A	A	A
		(6)リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。	SS	S	S
		(7)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。 ②市税等の滞納はないか。	S	S	S
		(8)その他指定管理者の提案によるもの		S	A	A
区分評価						A
V 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(2)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	A	A	A
		(4)地元での社会活動等への参加	地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。	S	S	S
		(5)その他指定管理者の提案によるもの		S	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

(I-1)

全職員が性の多様性について理解

・**《新規》**あらゆる市民に安心して利用できる施設を提供するため、LGBTs研修を受講しました。私たちは豊かな想像力を持ち、性による偏見や不平等を排除するため、全職員が性の多様性について理解しています。

新型コロナウイルス対応の厳格な運営による利用者の命を守る公共サービスの責任ある対応
・**《継続》**全職員がマニュアルを踏まえた共通理解・共通行動のもと、**利用者の平等利用を踏まえて責任ある職務の遂行**をしています。

アンケートによる要望・意見の公開・改善点の開示

・**《継続》**下半期にも**第2回アンケート週間を設定**し、来館者からご意見をいただきました。いただいたご意見等に対する改善点をロビー等に掲示しました。

ユニバーサルデザインの推進

・**《継続》**事業団自主財源でタブレットを購入し、視覚、聴覚、言語などに困難を抱えている市民も平等に施設を利用できるようにしました。

外国人や難聴者を想定した避難訓練の実施

・**《継続》**下半期も、日本語の理解が容易でない外国人や難聴者が、安全に避難していたけよう、ボードを用いた避難誘導訓練を実施しました。

(I-2)

情報提供の方策

・**《新規》**岐阜市青少年会館のInstagramページを作成し、公開しています。
ミニイベントの様子を動画で公開したり、シラスリボンプロジェクトなど、青少年に伝えたい情報を積極的に公開しています。

・**《充実》**岐阜市青少年会館のSNS(ツイッター)ページを作成し、公開しています。
ミニイベントの開催の様子や、臨時休館などの重要なお知らせについてもタイムリーに情報を発信し、迅速な情報公開に努めました。

・サタデー・サンデースクールの開催にあたり、5館共通のチラシを作成し、市内の全小学生に配布することでその効果を発揮しています。

(II-1)

・**新型コロナウイルス感染拡大防止策を踏まえた施設再開後の利用方法を策定**しました。
・計画していた事業の中止・変更を余儀なくされる中、「私たちに何ができるか」を考え実行しました。

社会的自立支援

【講座の開催】

・「若者チャレンジアップ講座」を開催しました。コロナ禍においてできないことが多い中、万全な対策を行ったうえで、継続性のある活動を実施しました。

・「若者支援クローズアップ講座」先駆的支援者から学ぼうを開催しました。

コロナ対策を万全にし、開催できる方法を考え、実施しました。命の大切さや生きることへのメッセージを言葉や音楽で伝えていただき、大変充実した講演会になりました。

さらに、参加した支援団体は講師と連絡先の交換をするなど、支援団体のネットワーク拡大も図ることができました。

【居場所機能】

・フリースペースを活用した若者支援を積極的に行っています。
・相談事業として現在は1人の若者の事例に対応しています。

【支援体制】

・**《充実》**エールぎふV係との連携協力体制を構築しました。青少年会館5館をサテライト会場とすることにより地域における**サードプレイス機能の充実**を目指しています。

・若者チャレンジアップ講座で継続的に活動してきた成果発表の場として、「中青フェスティバル」が重要な役割を持つことから、コロナ対策を万全にした「ミニ中青フェスティバル」を開催しました。

学びの提供

【講座の実施】

・地域貢献スキルアップ講座「いぬとねことひとのきもち」、「B3リーグの試合運営に参加しよう」を開催しました。

・<新規>自主事業「ミニ中青フェスティバル」を開催しました。

コロナ禍でも開催できるよう、内容を青少年育成支援団体の交流会としました。

シニアリーダークラブや支援団体の情報共有・意見交換の場とすることで、互いの想いや活動内容、問題点などが交流でき、また、講演していただいた講師も想いやアドバイスを送ることで、大変充実した事業となりました。支援者のネットワーク拡大も図ることができました。

【生涯学習】

・<充実>フリースペースの活用を促進するため、SNS等で情報を発信しています。また、正面玄関前に壁面を利用し、「ミニイベント」を開催しています。ハロウィンやクリスマスといった季節のイベントのほか、ピンクシャツデーやSDGsなど青少年に発信したい情報を取り上げ、クイズやメッセージの記入など、できるだけ参加型にすることで興味関心を引き出す工夫をしています。

・<新規>ヤングコミュニティボード「GIFU YOUTH SQUARE」を設置しました。アナログな情報交換を行い、コミュニティ形成を推進します。ネットのように検索を要しないため、興味外の情報も知ることができます。

・<新規>高校文化系部活動を応援するため、「中青フォトステーション」を設置しました。近隣高校の写真部に声をかけ、作品を展示していただきます。活動発表の場だけでなく、作品の入れ替えや飾りつけなどで来館機会を増やし、青少年会館としての機能を高めめます。

・<新規>館内掲示による、青少年に伝えたい情報発信を行っています。現在は「シトラスリポプロジェクト」について、その取り組みの意味や参加方法などを発信し、それを見た青少年が何を感じ、どう動くのか。といった、青少年会館が発信したい情報をわかりやすく、楽しく掲示しています。

・利用者からの声に誠意をもって対応しています。

・自主学习スペースを積極的に開放しています。

・<継続>5館で「サタデー・サンデースクール」を開催しました。教員OBの職員が寄り添い、学習支援することで、共感的な教育相談を行っています。そしてその子にとって心地の良い居場所となるようなサードプレイスとしての活用を図っています。

・<継続>オンライン学習支援「おもしろ教室」を実施しました。コロナにより自宅学習をしている青少年を支援しようとはじめ、現在268教材をホームページ上に配信しています。

社会参加の促進

【青少年団体への支援】

・シニアリーダークラブは9月中旬より活動を再開され、ミニ中青フェスティバルを職員と一緒につくるため活動を行いました。

・<新規>岐阜市青少年育成市民会議との連携による青少年支援活動として、青少年会館の職員が第47回岐阜市「家庭の日」推進大会のオンライン配信動画に、講師として招かれ、助言を行いました。

(II-(2))

利用者ニーズの把握

・<継続>満足度アップアンケート(1月19日～2月8日)を設定し、来館者からご意見をいただきました。いただいたご意見等にはすぐに対応できるものは至急対応しました。対応した情報を館内2か所に掲示、ホームページには5館の対応を掲載しご意見への責任ある対応をしました。

143枚回収し、満足度は99.3%でした。

(Ⅱ-3)

声かけ、見回りの充実

・館内循環時や消毒清掃等でお客様との対面時に、職員より積極的に声かけをし、ご意見をいただけるよう意識しました。その会話で得た内容を職員で共有し、対策を行うことで改善しました。

施設利用のプロモーション

・**《継続》**岐阜市青少年会館のSNS(ツイッター)ページを作成し、公開しています。下半期で19,778件(年間では53,007件)の閲覧回数があり、大変多くの方へ情報発信を行っています。

・**《新規》**岐阜市青少年会館のインスタグラムページを公開しました。青少年の閲覧が多いSNSですので、ミニイベントの動画やシトラスリボンプロジェクトといった情報を発信しています。

・**《継続・充実》**青少年や来館者とのコミュニケーションツールとして「ミニイベント」を正面玄関ロビーで行いました。季節のイベントや、青少年に伝えたい情報を取り上げています。

・**《新規》**岐阜市教頭会の会議において、「オンライン学習支援おもしろ教室」のPRを行いました。

・**《新規》**ヤングコミュニティボード「GIFU YOUTH SQUARE」を設置しました。アナログな情報交換を行い、コミュニティ形成を推進します。ネットのように検索を要しないため、興味外の情報も知ることができます。

・**《新規》**高校文化系部活動を応援するため、「中青フォトステーション」を設置しました。近隣高校の写真部に声をかけ、作品を展示していただきます。活動発表の場だけでなく、作品の入れ替えや飾りつけなどで来館機会を増やし、青少年会館としての機能を高めます。

・**《新規》**館内掲示による、青少年に伝えたい情報発信を行っています。現在は「シトラスリボンプロジェクト」について、その取り組みの意味や参加方法などを発信し、それを見た青少年が何を感じ、どう動くのか。といった、青少年会館が発信したい情報をわかりやすく、楽しく掲示しています。

・**《新規》**自主学習に励む中高生の皆さんを応援するため、「合格祈願！絵馬」を行いました。スタディールーム内に職員手作りの絵馬を置き、目標や頑張りを書いた絵馬を掲示し、3月には岐阜市少年自然の家の協力でお焚き上げを行い、その様子を動画撮影しインスタグラムで公開しました。

・**《継続》**生け花サークルの利用団体様より、活動中に作成された生け花を飾ってほしいとの申し出を受け、受付付近に飾らせていただきました。美観の向上とサークルの成果発表につながっています。

・**《継続》**サタデー・サンデースクールを土・日曜日の午前に開催し、今まで利用の少なかった小学生を対象としました。小学校にチラシを配布しPRしたところ、近隣の小学生が毎回通ってくれています。

・**《継続》**岐阜大学など近隣の大学に「青少年会館を利用しませんか」というPRチラシを作成し配布しました。その裏面には子どもと関わる学生ボランティアの募集を記載し、青少年会館へ興味を持ち、一度来館していただけるよう働きかけを行っています。

・「子ども会サポートプラン」は、コロナ対策により上半期は活動が制限されているため、具体的な動きがありませんでした。

施設設備の整備・充実

利用者からの声を受け、サービスの向上を図りました。

・**《新規》**廊下が暗いとの声から、電気工事士資格を持つ職員が1・2階の廊下にLED照明を増設しました。

・学習ルーム利用者からの声を受け、職員手作りの消しゴムカス入れ(広告紙で折り紙)を利用者にお渡しするサービスを実施しています。

利用者の声に対し、できることは迅速に対応することを心がけ、利用者からは「すぐに対応してくれて感謝している」とのお声をいただいております。

(II-(4))

広報活動

・<新規>岐阜市教頭会の会議において、「オンライン学習支援おもしろ教室」のPRを行いました。

・<継続・充実>岐阜市青少年会館のSNS(ツイッター)ページを作成し、公開しています。下半期で19,778件(年間では53,007件)の閲覧回数があり、大変多くの方へ情報発信を行っています。

・<新規>岐阜市青少年会館のInstagramページを公開しました。青少年の閲覧が多いSNSですので、ミニイベントの動画やシトラスリボンプロジェクトといった青少年に伝えたい・知ってほしい情報を発信しています。

・<継続・充実>青少年や来館者とのコミュニケーションツールとして「ミニイベント」を正面玄関ロビーで行いました。季節のイベントや、青少年に伝えたい情報を取り上げています。

・<継続>岐阜大学など近隣の大学に「青少年会館を利用しませんか」というPRチラシを作成し配布しました。その裏面には子どもと関わる学生ボランティアの募集を記載し、青少年会館へ興味を持ち、一度来館していただけるよう働きかけを行っています。その成果として、大学生サークル2団体が新規に利用していただきました。

青年層の利用拡大

・<新規>ヤングコミュニティボード「GIFU YOUTH SQUARE」を設置しました。アナログな情報交換を行い、コミュニティ形成を推進します。ネットのように検索を要しないため、興味外の情報も知ることができます。

・<新規>高校文化系部活動を応援するため、「中青フォトステーション」を設置しました。近隣高校の写真部に声をかけ、作品を展示していただきました。活動発表の場だけでなく、作品の入れ替えや飾りつけなどで来館機会を増やし、青少年会館としての機能を高めま

す。
・<新規>館内掲示による、青少年に伝えたい情報発信を行っています。現在は「シトラスリボンプロジェクト」について、その取り組みの意味や参加方法などを発信し、それを見た青少年が何を感じ、どう動くのか。といった、青少年会館が発信したい情報をわかりやすく、楽しく掲示しています。

・<新規>自主学習に励む中高生の皆さんを応援するため、「合格祈願！絵馬」を行いました。スタディルーム内に職員手作りの絵馬を置き、目標や頑張りを書いた絵馬を掲示し、3月には岐阜市少年自然の家との協力でお焚き上げを行い、その様子を動画撮影しInstagramで公開しました。

・<新規>自主事業である「ミニ中青フェスティバル」の実施に向けて、シニアリーダークラブ、SHINY、サテライトわおんのみなさんと職員と一緒に企画・準備を行いました。

(II-(6))

職場環境の向上

・優秀な人材の確保と職員の働く意欲を向上させるため、家庭と仕事の両立支援や女性の活躍推進に向けた取り組みを通して、職員が働きやすい環境を整備し、良質な市民サービスの提供につなげております。当事業団の取り組みが認められ、下記のとおり優良事業者として認定・表彰を受けました。

<新規>「ぎふし共育・女性の活躍企業」の認定(岐阜市)

<新規>「岐阜市男女共同参画優良事業者」の表彰(岐阜市)

<継続>「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定(岐阜県)

<新規>「基準適合一般事業主(くるみん)」の認定(厚生労働省)

新たな資格の取得

・様々な悩みを持つ青少年の話聞き、「共感的理解による寄り添い」を行うため、職員が新たな資格を取得しました。

<新規>「メンタル心理カウンセラー」(一財 日本能力開発推進協会)

職員の高い専門性やスキルの活用

・<継続>サタデー・サンデースクールを実施しました。これまでのフリースペースの学習ルームとの違いは次の点です。

①単に学習できる部屋を貸し自習を促すのではなく、指導者が寄り添い学習支援をする。

②宿題、課題をするだけでなく、個の様子を伺いながら、学習の仕方の支援をする。

③学校で学んだり、生活したりする中で困り感のある子どもに共感的な教育相談を行う。

このことにより、その子にとってのサードプレイスとしての活用を目指します。

・<充実>オンライン学習支援「おもしろ教室」を全職員の知恵と工夫により開講し、下半期105教材、現在268教材を事業団ホームページで公開しています。

今期の取組み
に対する評価

(Ⅲ-1)

コストをかけるサービスの優先順位

・新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底し、利用者の安全対策を万全とするため、必要となる消毒液の購入など、限られた予算の中で計画的な予算執行に努めました。

コストをかけないサービスの向上

職員のスリルや努力・工夫により、サービス向上を図りました。

・<新規>電気工事士の資格を保有する職員により、廊下の照明器具増設を行うことで、コストを下げ、サービスの向上を図りました。

・<新規>岐阜市少年自然の家職員のスリルと設備を活かした施設間連携により、木製立て看板を3本製作していただきました。

・<継続>オンライン学習支援「おもしろ教室」を全職員の手作りで作成し、公開していません。

・<充実>「若者支援クローズアップ講座 先駆的支援者から学ぼう」を職員の知恵と知識、工夫により交流会を兼ねた講演会として実施しました。

・<充実>自主学習利用の青少年の要望を受け、「友達と教え合う(会話できる)学習スペース」を開放し、青少年のニーズにこたえています。

・<充実>その他、職員でできることは迅速に行い、サービスの向上を図っております。

・<特記>コロナ対策の施設利用後の消毒清掃は職員で行っています。

(Ⅲ-3)

消耗品の一括購入

・今期は特にコロナウイルス対策で必要となる消毒液などの購入を5館一括で発注することでコストを抑えています。

職員講師による講座・事業の実施

・オンライン学習支援「おもしろ教室」を全職員の知恵と知識によりコストをかけることなく実施しました。

・「サタデー・サンデースクール」を教員OB職員の専門性によりコストをかけることなく実施しています。

職員による施設点検・整備や補修

安全性が確保できる施設の小修繕や設備の改良など、職員が持つスリルや知識、努力、工夫により、最小限の経費でサービス向上を図りました。

(Ⅳ-1)

公益事業に精通し、高い信頼性と安定した財務状況を継続

施設の趣旨や目的・利用者サービス・地域性等を踏まえ、下記のことを大切に、事業計画書に沿った管理運営を実施しています。

・設立以来32年間、様々な公共施設の管理運営による経験と実績の積み重ね

・(物的能力)数値が示す安定した財務基盤の確保と、不測の事態に対応する経営安定基金の設置

・(人的能力)高い能力を持つ人員の適切な配置による、5館が連携した事業開催の充実及び他施設との連携体制(中央青少年会館に5館を統括指導する「教育管理官」を配置)

・(専門的能力)教育力や指導力に長けた教員OBの配置による専門的能力を最大限活用した、青少年に寄り添った事業展開

(Ⅳ-3)

新たな資格の取得

・様々な悩みを持つ青少年の話の聞き、「共感的理解による寄り添い」を行うため、職員が新たな資格を取得しました。

<新規>「メンタル心理カウンセラー」(一財 日本能力開発推進協会)

職員の専門性や資格を活かした事業展開

・<継続>教員OB職員の専門性を活かした、個に寄り添う「サタデー・サンデースクール」を開催

・<継続>全職員の知恵と工夫で作成したオンライン学習支援「おもしろ教室」の配信

・<充実>職員の知恵と専門知識を活かした「若者支援クローズアップ講座 先駆的支援者から学ぼう」の開催

・<充実>様々な悩みを抱える若者を支援する、エールぎふV係との連携体制づくりと若者の悩みに寄り添う環境づくり

(IV-(4))

職場環境の向上

・優秀な人材の確保と職員の働く意欲を向上させるため、家庭と仕事の両立支援や女性の活躍推進に向けた取り組みを通して、職員が働きやすい環境を整備し、良質な市民サービスの提供につなげております。**当事業団の取り組みが認められ、下記のとおり優良事業者として認定・表彰を受けました。**

《新規》「ぎふし共育・女性の活躍企業」の認定(岐阜市)

《新規》「岐阜市男女共同参画優良事業者」の表彰(岐阜市)

《継続》「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定(岐阜県)

《新規》「基準適合一般事業主(くるみん)」の認定(厚生労働省)

館長会議・施設長会議・館内会議による物的能力・人的能力の安定した活用

・館長会議・施設長会議・館内会議を意図的、計画的に実行することで、職員の有する能力を十分に発揮できる職場づくりに努めています。

・中育が4館を統括することで、5館の共通歩調が極めてスムーズに取れてきました。

(IV-(6))

災害応援協定の締結

・《新規》北は札幌市から、南は別府市まで、全国各地、当事業団を含む9社の指定管理者と大規模災害発生時の応援協定を締結しました。有事の際に全国からの応援により地域の被災者対応ができる体制を構築しました。

新型コロナウイルス感染症対策を万全にした施設運営

・コロナ対策による施設再開後の利用受け入れ方法を、中央青少年会館において立案し、所管課と協議し、安全・安心な施設の利用方法を確立して、実行しています。

岐阜市社会教育委員会議における事例発表

・《新規》令和2年度岐阜市社会教育委員会議において、社会教育施設におけるコロナ対策の実施状況をプレゼンテーションしました。コロナ禍においても歩みを止めることなく、安全・安心を第一に施設を運営していることをアピールしました。

新型コロナウイルス対応マニュアルに基づく安全確保策の徹底

・5つの青少年会館が利用者の命を守るため、マニュアルに基づいた安全第一の管理運営を行っています。

外国人や難聴者を想定した避難訓練

・《継続》日本語の理解が容易でない外国人や耳が不自由な方が緊急避難時にスムーズに避難できるよう、サインボードを用いた避難誘導訓練を実施しました。

セアカゴケグモ対応

・今年度2度目の発生を受け、想定外の緊急事態においても、市民の安全確保を第一に、迅速に対応しました。

安全確保策

・その他、防犯研修会、情報セキュリティ研修会など、各種研修会、訓練を実施しています。

(IV-(7))

万が一に備えた保険への加入

・指定事業や自主事業の参加者やスタッフのケガや事故に対応するため、傷害保険に加入し万が一に備えております。事業団が管理する全施設の年間包括契約とし、毎年保険内容を精査し、仕様に基づいた競争入札を行うことで、保険料の上昇を抑えつつ、補償内容の充実を図っております。

(IV-(8))

事業団管理施設との協力・連携体制

・オンライン学習支援「おもしろ教室」を5館の青少年会館全職員が一丸となって作成し現在163教材公開するなど、全青少年会館が足並みをそろえて事業を展開しています。
・岐阜市少年自然の家とのコラボ動画の配信や他施設動画の上映、ミニイベントでの協力などを行っています。

・<新規>岐阜市少年自然の家職員のスキルと設備を活かした施設間連携により、木製立て看板を3本製作していただきました。利用者からも大変喜ばれております。

近隣施設との協力・連携体制

・エールぎふV係との連携体制の強化を図り、青少年会館5館をサテライト会場として教育相談や学習などが行えるよう、支援することで、青少年会館がサードプレイスとして機能する体制を構築しました。

・消防避難訓練をエールぎふ、明郷小学校通級指導教室とともに合同で実施しました。

総合防除(IPM)による環境衛生対策

・岐阜市の定める総合防除(IPM)の方針に則り利用者や周辺的环境に配慮し、極力薬剤を使用しない病害虫の駆除を行っています。

(V-(1))

地元団体の育成

・<新規>高校文化系部活動を応援するため、「中青フォトステーション」を設置しました。近隣高校の写真部に声をかけ、作品を展示していただきました。特に今年度コロナ禍による活動機会の縮小により十分な活動発表ができない中、大変ありがたいと喜ばれております。また、来館される皆さんも作品に目をやり、「とてもいいですね。」との声をいただいております。

・<新規>地域貢献スキルアップ講座「B3リーグの試合運営に参加しよう」で、岐阜市のプロバスケットチームである岐阜スウープスのホームゲームボランティアに参加しました。参加した中高生や職員も、楽しく地元チームの応援ができ、ぜひこれからもボランティアや観戦をしたいとの感想を述べていました。

・<継続>今年度下半期も、ベルマーク運動で地域の小学校に協力しました。これまで不要になったトナーカートリッジやインクカートリッジは業者がリサイクル回収していましたが、地域の小学校を応援するため、寄付いたしました。利用者や職員が集めたベルマークとともに明郷小学校へ届けたところ、大変感謝されました。

・<継続>大学生サークルの活動を支援するため、青少年会館の利用促進チラシを作成し、配布しました。実際に岐阜大学や岐阜女子大学などのサークルから新規の利用がありました。

・<継続>地元プロチームを応援するため、事業団ホームページにバナーリンクの掲載を行いました。多くの市民の目に留まる機会を増やすことで、興味を持ち、試合会場へ足を運ぶきっかけとなることを願っています。

岐阜市シニアリーダークラブの育成

・<充実>「ミニ中青フェスティバル」において、岐阜市シニアリーダークラブが事業運営に関わり、そのリーダー性を発揮できるよう、計画段階から職員とともに立案し、準備し、当日の運営を行いました。

・<新規>「若者支援クローズアップ講座 先駆的支援者から学ぼう」の講師に、岐阜市シニアリーダークラブのOBである講師を招き、自身が在籍中に夢中になった活動やその時感じていたこと、教員となって当時の活動に思うことなどを、現会員に楽しく伝え、激励やアドバイスを行っていただきました。

岐阜市社会教育委員会議における事例発表

・<新規>令和2年度岐阜市社会教育委員会議において、社会教育施設におけるコロナ対策の実施状況をプレゼンテーションしました。コロナ禍においても歩みを止めることなく、安全・安心を第一に施設を運営していることをアピールしました。

(V-4)

地元での社会活動

- ・**《継続》**ぎふまち育て隊(アダプトプログラム)に参加しています。施設の東にある「明德ボケツトパーク」を毎月定期的、継続的に清掃することで、**地元の美化に貢献しています。**また、**清掃時間帯を午後3時ごろにすることで、小学校低学年の下校見守りも行っています。**
- ・岐阜市消防団協力事業所に認定されています。
- ・子ども110番の家に登録しました。
- ・応急手当協力事業所に登録しました。

(V-5)

- ・**《新規》**SDGs(持続可能な開発目標)を広く市民に、特に青少年に発信するため、玄関前の壁面に掲示物を作成しました。さらに、クイズやすごろくで楽しみながら学べるよう工夫し、啓発活動を行っています。

- ・**《新規》**「シトラスリボンプロジェクト」に賛同し、その活動を啓発するための壁面掲示物を作成しました。

- ・**《新規》**ミニイベントで「ピンクシャツデー」を取り上げ、いじめ撲滅運動に賛同し、その活動を啓発するための壁面掲示物を作成しました。また、2月24日の当日には職員もピンク色のものを身につけ、来館者とともに活動に参加し、その様子をSNSで発信しました。

災害応援協定の締結

- ・**《新規》**北は札幌市から、南は別府市まで、全国各地、当事業団を含む9社の指定管理者と大規模災害発生時の応援協定を締結しました。有事の際に全国からの応援により地域の被災者対応ができる体制を構築しました。

子どもスマイルステーション

- ・**《継続》**主に登下校中の子どもたちの「困った!」に対応し、傘を貸したり電話を貸したりする活動を行っています。下半期では10件の児童に対応しました。

○その他、事業計画書記載事項をすべて実施しました。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○働いている青年層が来られるような講座が実施できるよう内容や時間帯を工夫してほしい。 ⇒「若者支援クローズアップ講座」の受講者は、支援者や教員を対象者としています。昨年度まで平日の午前中に計画されており、大変受講しにくいことから、年度計画では金曜日の夜間に開講予定でした。コロナ禍により集合型の講座が実施できない事態を受け、職員のスキルと知恵により、収録動画の配信によるWEB講座を実施しました。また、一方通行の講座とならないよう、受講希望者にアンケートを取り、質問や要望をお聞きし、講師に伝えることで、配信内での返答や話の内容に取り入れていただくなどの工夫を行いました。 このような工夫により、今年度の講座には小中学校教員の参加が多数あり、高い評価を得ました。</p>
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の活動支援を強化し、利用を促進するとともに、情報発信を強化します。 ・フリースペースを活用した若者への支援事業の充実を図ります。 ・5青少年会館の活用を念頭に、エールぎふとの連携をさらに強化します。

<p>所管課の意見</p>	
<p>●指定管理者や所管課の評価が、前回の評価委員会の評価から変化した項目 □指定管理者と所管課で評価が異なる項目</p> <p>II-(1)指定管理者SS、所管課S（前回の評価委員会S）(●□) 掲示物を工夫し、広報を熱心に実施していることは評価できるが、成果・効果が顕著とまではいえないため、この評価とする。</p> <p>IV-(1)指定管理者S、所管課A（前回の評価委員会A）(●□) 自己資本比率は従来どおりであるためこの評価とする。また、教員OBの強みを活かした学習支援を行い人的能力を有していることについては、IV(3)により評価する。</p> <p>IV-(4)指定管理者SS、所管課S（前回の評価委員会S）(●□) 年次休暇取得率や女性の活躍推進に向けた職員が働きやすい環境が認められ、各種認定や表彰を受けたことは評価できるが、11全ての項目において、成果・効果が顕著とまではいえないため、この評価とする。</p> <p>IV-(6)指定管理者SS、所管課S（前回の評価委員会S）(●□) 全国各地にある指定管理者と大規模災害発生時の応援協定を締結し、協力体制を構築したことは評価できるが、他の項目を含め、成果・効果が顕著とまではいえないため、この評価とする。</p> <p>IV-(8)指定管理者S、所管課A（前回の評価委員会A）(●□) おもしろ教室はII(1)、III(3)で評価する。立て看板の自作は良い取り組みであり、職員の能力という観点からこの項目に記載があると思われるが、管理を安定して行うための人的能力とは別観点であるため、III(1)で評価する。その他、業務履行は要求水準どおりとして、この評価とする。</p> <p>V-(1)指定管理者S、所管課S（前回の評価委員会A）(●) 岐阜高校写真部にコンタクトをとり写真掲示を依頼することで会館の利用促進をはかる他、地元青少年の活動の活性化につながるとして、この評価とする。</p> <p>V-(5)指定管理者S、所管課A（前回の評価委員会A）(●□) 全国各地にある指定管理者と大規模災害発生時の応援協定を締結した新たな取り組みはIV(6)により評価する。また館内掲示への熱心な取り組みはII(1)、III(3,)III(4)で評価する。その他、業務履行は要求水準どおりとして、この評価とする。</p>	

●指定管理者評価委員会の意見

<p>○「おもしろ教室」(学習プリント)について ・ダウンロード数を明記するとよい。 ・ホームページ上、コンテンツ数が多すぎて見づらいため、構成を整理するとよい。 ・印刷するのはハードルが高いため、直接タブレット上で学習が実施できるよう工夫するとよい。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対応も災害対策の一つであるため、事業団としてBCP計画を作っているなら、新型コロナウイルス対応マニュアルもその項目の一つとして入れるとよい。</p>
--